

新城市立千郷小学校

1学期は3名の講師による講義とワークショップ形式の研修会を実施し、すぐに役立つスキルの習得に努めました。

期 日 平成22年5月25日(火)
講 師 曾山和彦先生(名城大学教職センター准教授)
研修内容 ①教師を対象にした模範授業
②講義「関係づくりの技法」
～SGE(ソーシャル・グループ・エンカウンター) & SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を中心に～
2つの研修から、グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングのやり方や必要性がわかりました。また、子ども理解や学級づくりのキーワードをたくさんいただき、次の日の朝の会ほどの学級も優しい雰囲気が流れていました。



期 日 平成22年5月27日(木)
講 師 杉浦邦夫先生(元小学校校長)
研修内容 講義「道徳の時間は・・・」

道徳授業の目標から実践のやり方まで軽妙な話術で楽しく話していただきました。

研修後の感想から、「主人公の行為を窓口にして、今までの自分を振り返る発問をしていくことなど、道徳の基本を学ぶことができた」など、道徳の基本がよく分かったという感想が多く聞かれました。講義後の質疑では、「『そんな経験はない』と振り返りをしない児童に対して何とさえいいののか」など具体的場面での疑問を解く助言をいただくことができました。

期 日 平成22年6月3日(木)

講 師 曾山和彦先生(名城大学教職センター准教授)

研修内容 ①講義「SST & SGEを活用した授業づくり」

②演習 紹介エクササイズ

研修①では、かかわり不足の子どもたちに人付き合いのコツ、技術をつける必要性を教わりました。

研修②では、「探偵ゲーム」「ジャンケン手の甲タッチ」「そうだねゲーム」などを実際に行い、ショートエクササイズを楽しく体験しました。和気あいあいとした中で研修することができ、早速、翌日の朝の会で実践する先生の姿が複数見られました。



期 日 平成22年6月10日(木)

講 師 杉浦邦夫先生(元小学校校長)

研修内容 ①講義「道徳資料の分析の仕方」

②ワークショップ「道徳資料の分析をしてみよう」

研修①では読み物資料「手品師」を使い、資料分析の方法を学びました。

研修②では、自作資料「ぼくとひろし」を4～5名のグループで資料分析し、結果を報告し合いました。ワークショップで道徳の授業の組み立て方を知り、はやく実践してみたいと意欲を燃やす先生も出てきました。



期 日 平成22年7月15日(木)

講 師 野田敦敬先生(愛知教育大学生生活科教育講座教授)

授業参観 2年算数、4年総合的な学習、6年学級活動

研修内容 講義「かかわり合って学ぶ授業・学級の作り方」

2年生、4年生、6年生の1クラスずつ参観していただきました。授業者には、授業でよかったところや学級掲示と学習との結びつきについて助言をいただきました。

研修では、学び合いのポイントとして「板書」の重要性を教えていただき、次回の野田先生の研修では、板書の作り方について勉強することが決まりました。

